

「災害被害を軽減する国民運動のページ」を開設しました

災害から安全・安心を確保するためには、個人や家庭、地域、企業、団体等が日常的に減災のための行動と投資を息長く行うことが大切です。政府の中央防災会議では、昨年4月に「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針」を定め、日頃から具体的な備えを実践する国民運動の展開を呼びかけています。

そこで内閣府では、災害による被害を少しでも減らすための取組に関心を持っていただくため、「災害被害を軽減する国民運動のホームページ」を開設しました。

災害被害を軽減する国民運動ホームページ（情報ライブラリ）
<http://www.bousai.go.jp/km/>

このページでは、国民運動の展開に資する情報ライブラリとして、減災のための取組など次のようなことを紹介しています。

◆「一日前プロジェクト」

被災から一定期間を経過した被災者や災害対応経験者のみなさまにお集まりいただき、「もし、災害の一日前にもどることができたら、あなたは何をしますか」をテーマに、①被災直後の行動、②体験を通じて上手くいったと思うこと、失敗したと思うこと、③もう一度災害が発生したならば、次はどのように行動したいか、④そのために日頃から何を準備しておけばよかったか、といった本音の話をお聞かせいただき、これらの話から導き出されるさまざまな教訓や身につまされる体験をショートストーリー（エピソード）に取りまとめ、紹介しております。

◆「減災の取組」

地域の自治会や町内会、公民館や青年会議所・婦人会などのさまざまな団体、都道府県市町村、企業等が、防災や減災に関してさまざまな取組をしています。これらの取組を紹介しております。

◆「災害の記録」

ホームページ等で公開されている災害映像や写真などのリンク集です。

この他、「災害の歴史」「災害の基礎知識」「ゲーム・書籍」を『学ぶ』ページのリンク集や「減災のてびき」（パンフレット）などの紹介をしています。

内閣府では、この情報ライブラリを今後さらに充実させてまいります。

＜お問い合わせ先＞

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害予防担当）付
国民運動推進担当 渡部、岩間 TEL 03-3503-9394（直）

「災害被害を軽減する国民運動のページ」トップページ

[防災情報のページ](#) | [みんなで防災のページ](#) |



Cabinet Office, Government of Japan

災害被害を軽減する国民運動のページ

サイト内検索

Google 検索

ホーム

災害被害を軽減する国民運動

減災のてびき

一日前プロジェクト

減災への取組

災害の記録

学ぶ

情報リンク集

イベントの紹介

あなたの無事を伝えましょう

災害用伝言
ダイヤル **171**

[\(社\)電気通信事業者協会](#)

こちらからさまざまな
防災の動画を見ることができます

政府インターネットテレビ



51ch防災チャンネル



PDFファイルを開覧する
には、Adobe®
Reader®(無料)が必
要です。

災害被害を軽減する国民運動とは？

地震、津波、台風など自然災害は思わぬときにやってきます。災害をなくすことはできませんが、被害を少しでも減らすことは今からでも取り組むことができます。

この国民運動は、皆さん一人ひとりが日頃から具体的な行動(事前の備え)に着手することによって、安全で安心して暮らしてゆける社会をつくってゆこうという運動です。

まず、普段からできることから取り組んでみましょう。この小さな取組が災害からあなたを守ります。



子どものページ



- ▶ [津波だ！いなすらの火をけすな](#)
- ▶ [ぼうさいダック](#)
- ▶ [ぶるるくん](#)
- ▶ [ぼうさい探検隊](#)

先生のページ



- ▶ [「ぼうさい探検隊」授業実践の手引き](#)
- ▶ [ぶるるくん](#)
- ▶ [中学生向け「危機管理・防災に関する教材」](#)

地域の防災に携わる人のページ



- ▶ [公民館における災害対策ハンドブック](#)
- ▶ [減災のてびき](#)
- ▶ [「防災基本条例を中心とする減災のための地域づくり」\(東京都板橋区\)](#)

企業のページ



- ▶ [企業と地域の連携による「防災フェア」\(東京ガス\)](#)
- ▶ [企業による自治体及び住民団体との「地域防災協定」\(ダイキン工業\)](#)
- ▶ [ガラスパワーキャンペーン\(旭硝子\)](#)

各ページのご案内



減災のてびき

今すぐできる減災への「7つの備え」です。



一日前プロジェクト

自然災害で被害を受けた方に「一日前に戻れたら、何をしますか」というインタビューをしました。



減災への取組

自治会やボランティア団体などが様々な防災・減災への取り組みを行っています。



災害の記録

実際の災害映像、CGを使ったシミュレーションなどを紹介しています。



学ぶ

耐震補強のシミュレーション、ゲーム、歴史などを通じ

高い食器を二度割った

福岡市 50代 女性

地震が起きた日はちょうど日曜日で、主人はゴルフに行っていました。私は家にひとりぼっちでした。で、着替えてソフトバレーボールの練習に出かけようとしていたら、ワーッと揺れて、うちの食器棚は観音開きだから、扉が左右にダーッと開いて、中の食器がバーッと飛び出しました。

割れた食器を見たら、いつもわりといいのを食器棚の手前の方に置いてあるから、コーヒーカップのセットやらクリスタルのグラスやらが落ちて粉々でした。それに、主人の退職祝いでもらった高い花瓶も割れてしまっているんです。「ああ、残念だったな」と思いました。

なもんで、そんな私をかわいそうに思った友達が、1回目の地震のあと、いくつか食器を持ってきてくださったんです。けど、1ヶ月後の2回目の地震のときに、それもまた割ってしまいました。

最初の地震で大事なものを割ってしまったから、しばらくは食器棚の扉が開かないようにヒモでくくりつけていたのに、1ヶ月たったらもう忘れてるんです。

